



冬の日の風景

1/7~10

町教育委員会によるわんぱくチャレンジスクール『冬の日の風景』が、日高町の国立日高青少年自然の家で開かれ、町内の小学生24人が参加しました。

参加した児童は、3泊4日の期間中、スノーラフティングや雪上運動会、アイスタワー作り、歩くスキーなど冬の自然を満喫。さまざまなレクや体験を通して、参加者同士の親睦と交流を図り、楽しい冬休みの思い出を作りました。



平成26年新年交礼会

1/6

町商工会などの産業団体による『新年交礼会』が町公民館で開かれ、町内の企業や団体などから約220人が出席しました。

主催者を代表して、町商工会の會澤實会長が「アベノミクスの三本の矢の最後の成長戦略は、今年が勝負。この1年、新ひだか町が大きく変わる年になるよう前向きにやっぺいこう」とあいさつ。出席者は、お互いの新年の飛躍を願いながら歓談しました。



交通安全地域モデル

12/19

町交通安全推進協議会は、12月5日三石本町で発生した交通死亡事故の再発防止策として、三石中学校の生徒全員に夜光反射材を配布しました。

生徒が下校時や夕方の外出時に反射材を着用することで、地域の模範となって住民に反射材の必要性を再認識してもらい、交通安全意識を高める目的で実施。後日、生徒にアンケートを実施し、今後の交通安全運動に役立てていきます。また、町教育委員会を通じ静内地区の中学校にも配布しました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



白寿祝状授与

1/9

上島武雄さん（静内緑町）が白寿を迎え、入所先の特別養護老人ホーム静寿園で、酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

上島さんは旭川市出身で、現在、同じ静寿園で生活しているやす子さんと昭和16年に結婚し、4男2女に恵まれました。この日、町内に住む二男夫婦がお祝いに駆けつけ、静寿園の職員とともに99歳の誕生日を祝いました。



防災祈願セレモニー

1/7

静内消防団（阿部幸男団長）による『防災祈願セレモニー』がピュア前広場で行われ、多くの町民らでにぎわいました。

阿部幸男団長は「団員は自分の町は自分で守るという気持ちで日ごろから訓練している。町民の皆さんも同じ気持ちで防災に取り組んでほしい」とあいさつ。セレモニーでは、染退太鼓の演奏やもちまきのほか、木やり歌に合わせて団員が力強くまとい振りを披露し、今年一年の防災を誓いました。



白寿祝状授与

12/24

12月22日に99歳の誕生日を迎えた住友キヌさん（静内田原）に、酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

住友さんは新冠町出身で、昭和12年に静内田原で農業を営む故・薫雄さんと結婚し、5男1女に恵まれました。読書が好きで最近まで新聞を読んでいた住友さんは、祝い状も元気に読み上げていました。

この日は、苫小牧や新冠、町内などから子どもや孫、ひ孫がお祝いに駆けつけ、白寿を喜びました。



子どもの心に響く道徳教育推進事業 12/17

静内第三中学校で、日本で唯一のフランス式バグパイプ「キャブレット」の奏者、長嶺久美子さん（札幌市在住）が特別授業を行い、夢の実現に向けて努力することの大切さを語りました。

これは北海道教育委員会が行っている『子どもの心に響く道徳教育推進事業』の一環で、長嶺さんは3年生84人に対し「音楽を広めることが私の役割。みんなにも必ず自分にしかできないことがある」と話し、生徒は真剣に耳を傾けました。



冬休み子どもスクール

1/17

冬休み子どもスクール『作ってみよう！糸操り人形』が女性センター・みらいで開かれ、町内の小学生10人が参加し、紙コップやタコ糸を使って、糸操り人形作りに挑戦しました。



福祉灯油

福祉灯油受付開始

1/14

町は、灯油価格の高騰を受け、高齢者世帯など低所得世帯の灯油購入費用の一部として、1世帯あたり1万円を助成する『福祉灯油助成事業』の受け付けを開始しました。



三石スポーツセンター新装オープン

1/14

耐震補強工事のため休館していた三石スポーツセンターが、新装オープンしました。この日、町内の野球少年団や家族連れが利用し、4年ぶりの再開を喜んでいました。



交通安全祈願

1/10

静内地区交通安全団体関係者による『交通安全祈願』が静内神社で行われました。参加者は玉ぐしを捧げて、今年一年の地域の交通安全を祈願しました。